

## 12月市議会定例会

### 一般質問

12月13日(火)から12月15日(木)の3日間の日程で、12人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して紹介しています。なお、未掲載の質問については、会議録やホームページをご覧ください。

12月13日(火)

#### 自民クラブ

近藤司議員 (30分)



#### (1)新居浜太鼓祭りについて

##### ①今年の太鼓祭りの総括

**問** 工場前広場では群衆同士の暴力行為で10人の負傷者が救急搬送されたが、市長は今年の太鼓祭りについてどのように認識し、対処するのか。

**答** 太鼓台同士のけんかを誘発するような挑発行為をはじめとする人同士のけんかや暴力行為が行われたと認識している。近年、鉢合わせ行為が繰り返され、観客やかき夫の安全が確保でき

ていない危機的な状況であるため、今後は新居浜市太鼓祭り推進委員会や警察と連携を強化し、平和で楽しい祭りの実現のための取り組みを進めたい。

##### ②暴力追放

**問** 太鼓祭りから暴力をなくするには、市や太鼓祭り推進委員会による暴力排除のルール化とそれに基づく警察当局の協力が不可欠であると思うが、いかがか。

**答** 太鼓祭りの当事者が強い思いを持って改善に臨むことが重要であると思う。市としては太鼓祭り推進委員会に平和運行検討専門部会のような協議の場を設け、暴力排除や鉢合わせ防止に向けた抑止策あるいは警察当局の直接的な介入や文化・観光功労褒賞の支出基準などについて前向きに協議を進めるよう強く要請していきたい。

##### ③市民意識の改革

④ 太鼓祭り推進委員会の在り方

(2)平時における災害対策について

##### ①災害情報の伝達体制の整備

##### ②避難所の開設と運営

##### ③災害廃棄物の処理対策

#### 公明党議員団 黒田直徳議員 (30分)



#### (1)市の財政について

(2)新型コロナウイルス感染症について

#### (3)高齢者の就労支援について

**問** 高齢者の再就職のために、資格の取得や就労のあっせんなど、市オリジナルの高齢者就労支援モデル事業を展開してはどうかと考えるが、ご所見を伺う。

**答** 高齢者を含めた労働力の確保は、非常に重要な課題であると考えていることから、これまでに多くの求職者が就職できるためのより良い手段を他の先進事例なども参考にしながら調査研究したいと考えている。

#### (4)プッシュ型行政サービスについて

#### (5)福祉施設について

① 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金

② オンラインサービス

#### (7)鳥獣被害について

**問** 小さな子どもや児童がイノシシやサルに出くわした時の対応についてのマニュアル作成な

ど、被害予防策として講じられることがあるか伺う。

**答** イノシシについては、県が作成した行動特性に関する子ども向けリーフレットの配布や、ホームページでの発信など、引き続き周知啓発に努める。また、サルについては、県でリーフレットなどが作成されていないため、市がマニュアルなどの作成について検討する。

(8)带状疱疹予防ワクチンについて

#### 新居浜の未来を考える会 神野恭多議員 (30分)



#### (1)人口減少問題について

**問** 地域に投資を呼び込み利便性の高い地域づくりを進めることで人口減少の抑制につながるかと考えるが、地域の社会インフラ整備を含めた本市の考えを伺う。

**答** 鉄道や道路などを整備することで、若者の人口流出を防ぎ、定住人口および交流人口を促進する要因になると考えている。また、通信網を整備することで、地方都市でのビジネスチャンスの広がりにつながると考え

る。社会インフラを整備し、魅力的で利便性の高い地域づくりを進めることは、有効な人口減少対策になり得るため、積極的に社会インフラ整備を推進していく。

(2) 学校に行きづらい児童生徒の支援について

- ① 現状
- ② 校内サポートルーム
- ③ フリースクール
- ④ 適応指導教室

(3) 教育DXの推進について

(4) デジタル施策について

**問** 5) 中小企業の人材確保について  
円安や低成長により外国人材の獲得が難しくなると予測される中、円滑な受け入れに資する環境整備の必要性を感じるが、今後の取り組みと方針はどうかか。

**答** 国内の人材だけではなく外国人材の確保にも努めていくことがこれまで以上に重要になると考えている。

企業が外国人の雇用に取り組みやすい環境づくりとして、外国人を雇用した場合や外国人の育成を行った場合にかかる費用の一部を助成するなど、企業にとってより良い体制づくりのた

めの支援策について調査研究していきたい。

(6) 合併処理浄化槽補助の拡充について

(7) 市営大生院団地について

## 12月14日(水)

新居浜の未来を考える会  
合田晋一郎議員(30分)



(1) 高校生会議について

① 高校生の市政参加

② 高校生によるまちづくり

**問** 高校生の新居浜を思う気持ち  
は市の財産・宝物である。その思いを市政に反映し、高校生が自らまちづくりにおいて活躍できる場を検討できないか伺う。

**答** これまで全国から集まったさまざまなバックグラウンドを持つ大学生などが本市の抱える課題をプレゼンテーションで事業提案する地方創生インターンシップ事業T.U.R.E.T.E.C.H

に取り組んできた実績があるので、今後はこの手法を生かして、高校生の意見を反映させる取り組みを実施したいと考えてい

る。

(2) 夜間中学について

① 広聴による市民ニーズの把握

**問** 夜間中学を学びの場として必要とする人々は必ずいると考えられるが、誰一人取り残さない取り組みとして必要かどうか市民ニーズの把握ができないか伺う。

**答** 本市では、県教育委員会からの依頼を受け、毎年夜間中学に関するニーズ調査を実施しており、今年度も10月から1月までの間でアンケートを実施している。この調査により、本市での必要性を把握することとしているが、その結果を踏まえた上で、必要に応じて広聴によるニーズ把握についても検討していきたいと考えている。

② 広報の活用

(3) 政策立案や意思決定の場への女性参画について

- ① 特定事業主行動計画
- ② 女性版骨太の方針2022
- ③ 魅力あるまちづくりについて

- ① 別子銅山閉山50年
- ② 防災公園
- ③ 無電柱化推進計画

無党派  
井谷幸恵議員(10分)



(1) 学校給食費無償化について

① 全国的な動き

(2) 本市の現状と方向性

- ① 公立保育園の廃止について
- ② 金子保育園廃止の経緯と保護者の声

③ 公立保育園の役割

(3) 市民要望について

- ① 林道加茂角野線の整備
- ② 森林資源の開発と活性化

無党派  
小野志保議員(10分)



(1) 摂食障害について

- ① 子供の摂食障害
- ② 理解と包括的ケア
- ③ マゼンタリボン運動

(2) 別子山地域について

- ① 教育移住
- ② 過疎地域持続的発展計画

自民クラブ

小野辰夫議員(30分)



(1) 空き家対策について

- ① 現状と課題認識
- ② 問題の解消に向けた取組
- ③ 空き家バンクの利用状況

## (2) ICT教育について

① ICT教育の現状と課題  
対策

**問** 読解問題を紙とデジタルでそれぞれ出題すると、小学校中学年以下では紙の方が良い結果だったが、これを受けて本市ではどのように注意を払っているか。

**答** これまで行ってきた教育を全てデジタルに置き換えるというのではなく、従来から実施している教育を丁寧に行いつつ、発達段階に応じてICT機器の効果的な活用を積極的に進めることに留意している。

② プログラミング教育  
③ 社会教育でのICT教育  
(3) 通学路の安全点検と対策について

① 安全点検に係る取組の現状  
② 問題箇所の把握と対策  
③ 防犯、防災の観点からの安全点検

## (4) 郷土美術館の文化財について

**問** 郷土美術館閉鎖後、一部の収蔵品はふるさとラボに展示したり、学校の空き教室に仮置きしたりしているが、今後市は文化財をどのように活用するのか。

**答** 学校の空き教室などに仮置きしている収蔵品を、一括で仮置きできるスペースを確保した上で保存状態を確認し、将来的にはデジタルデータを含めた保存活用方法を検討する。

自民クラブ  
藤田 幸正議員 (30分)



## (1) 目指すまちづくりについて

**問** 公約の実現に向けて厳しい財政状況が続く中、人件費、物価などの高騰によりさらに厳しい状況だが、どのような当初予算編成内容になるのか伺う。

**答** 当初予算編成には、人件費及びシステム使用料を対象に実施したサマーレビューを反映し、予算の圧縮に努める。事業の見直しを行い、歳出の抑制を図りながら、国、県の補助金、ふるさと納税及び企業版ふるさと納税などによる歳入の確保に努め、新たなニーズへの事業の転換を図る。

**問** コロナ禍などにより財政状況が悪化する中で、市民サービスの低下を招かぬ市政運営を続けるには、さらなる財源の確保が必要ではないか。

**答** 国の補助金などの採択を受けるために、事業内容や補助制度などを熟知している事業担当課や財政課を中心に取り組んでいるが、今後予想される大型プロジェクトを推進するためには、新たな財源確保が必要である。あらゆる補助制度を総括できる専門部署の設置も含めて検討し、情報収集に努め、より有利な国の補助金などの活用を図りたい。

(2) 人口減少対策について  
(3) 公の施設の駐車について  
(4) 企業用地の造成について  
(5) 道路整備について  
(6) 多喜浜塩田について

## 12月15日(木)

無党派  
片平 恵美議員 (10分)



(1) 高齢者の聞こえの支援について

① 高齢者の聞こえの重要性  
② 市の現状  
③ 補聴器使用の必要性  
(2) 温室効果ガスの削減について  
① 削減の重要性

② 具体的取組  
③ 産業部門との連携

公明党議員団  
河内 優子議員 (30分)



(1) 子供支援について  
(2) 養育費について

① 離婚相談  
② 養育費確保支援  
(3) ごみ問題について

① ごみ減量対策  
② ごみ減量教育

**問** ごみ減量対策の取り組みとして、市民の方に分かりやすいごみ減量啓発と幼少期からのごみ減量教育が必要と考えるが、今後の取り組みを伺う。

**答** 啓発については、より多くの市民に知ってもらえるよう効率的な広報に向け準備を進めており、ホームページや公式LINEなどのSNSを活用し、積極的に発信していく。

ごみ減量教育については、学校やいはま環境市民会議と連携し、実施しているが、今後も関係機関や関係部局と連携しながら、ごみ減量教育の充実、拡充を図っていく。

③ ごみ出しルールを守らない



新居浜市議会



←新居浜市議会のホームページへ  
映像配信や会議録でさらに詳しく！

問

①別子木材センター  
赤字経営からの脱却を図る

(1)別子山地区について

自民クラブ

田達 秀道議員 (30分)



- ②子宮頸がん予防ワクチン
- ③教育行政について
- ④学校等におけるてんかん発作時の対応
- ⑤重いランドセル

【答】軽度認知障害や認知症の早期発見、認知症の早期受診を促すことができるなどのメリットがあるが、受診増加になった場合の専門医不足の問題などが考えられることから、先進地での取り組みを参考にするとともに、事業実施の可能性について認知症疾患医療連携協議会で協議を行うなど、検討していきたい。

(4)福祉行政について

①認知症対策

【問】認知症初診料無料事業は、認知症の自覚がない人の病院受診のきっかけづくり、早期発見治療につながるかと考えるが、本市の考えを伺う。

【答】地域産の杉、ヒノキ間伐材を造作用集材として活用した積層間柱、フリー板を主力商品として、既存顧客の受注増、工務店などの新規顧客獲得に向けて積極的な営業活動に取り組んでいる。

ために、今後どのようなところに販売活路を見いだしていけるのか。

【答】市としても、関係各所と連携しながら、別子木材センターの営業活動支援に取り組んでいく。

- ②地域おこし協力隊
- ③集落支援員制度
- ④林道整備
- ⑤観光振興
- ⑥別子山企業組合

(7)別子山地区の将来像

【問】住友グループ発祥の地である別子山を将来にわたり持続可能な地区として位置付け、残していくために、行政として何が足りなくて何が必要なのか。

【答】地域の活性化を図り、人々の生活を支える新しい担い手の育成を進める必要があると認識している。また、地域住民の主体的活動との連携も重要であり、

自民クラブ

伊藤 謙司議員 (30分)



基幹産業との相乗効果を図るため、地域資源を活用する取り組みなども必要と考えている。

地域住民、移住者、行政が一体となり、持続可能な未来づくりに取り組んでいく。

- (1)自転車の練習場所について
- (2)市政だよりの配布について
- (3)敷島橋の架け替えについて

【問】敷島橋は建設後60年になるが、老朽化した敷島橋の架け替え工事をした場合の予算、工期はどの程度かかると予測しているのか。

【答】事業費については、橋長が約267メートルの平形橋で24億円程度を要しており、橋長が約320メートルの敷島橋の架け替えにはそれ以上の費用を要することが想定される。また工期についても、設計から完成までに、平形橋が6年程度、新田橋が8年程度かかったため、敷島橋はそれ以上の工期を要することが想定される。

(4)小中学校体育館の施設充実に  
ついて

(5)市民文化センターの建て替え  
について

(6)新居浜太鼓祭りの今後につ  
いて

【問】新居浜太鼓祭りにおける、けんか行為の排除、かき夫の確保について、行政として、どのように考えているのか。また、来年度以降の対応はどうするか。

【答】先般の太鼓祭りについて、太鼓祭り推進協議会でどう改善していくか議論していただき、行政としては市民の皆さんが楽しめる平和で事故のない秋祭りになるようお願いしていきたい。また、かき夫確保のために高校生かき夫を容認することは、平和運行が達成された後に考えるべきだと考えている。



議事課

☎ 65 - 1321  
FAX 65 - 1322